

## V60c 東京大学木曾観測所 30cm 望遠鏡システムの開発 II

三戸 洋之、樽沢 賢一、征矢野 隆夫、青木 勉、  
中田 好一、宮田 隆志、西浦 慎悟 (東京大学木曾観測所)、板 由房 (東京大学理)

木曾観測所では 2001 年より、30cm 望遠鏡 (視野  $17.3' \times 11.5'$ ) の新たな制御システム K.3T (Kiso 0.3m Telescope) の開発をおこなっている。

K.3T の主要な観測主題は近傍 IRAS 天体の変光観測である。変光観測には、長期にわたった反復的、規則的な観測が必要であるため、簡単で、効率よく望遠鏡を制御できるシステムの構築が、その成果を大きく進展させる。この観点に立って、われわれは自動遠隔制御が可能な望遠鏡システムの開発をすすめた。

2002 年 5 月に望遠鏡を格納する新たな 2.8m ドームが完成した。この新ドームは、手動でしか操作できなかったこれまでのスライディングルーフと異なり、PC からのコマンドによる制御が可能である。このドームの完成により、K.3T の自動遠隔制御システムの初期計画が達成された。

2002 年 4 月から K.3T の測光パラメータを求めるための評価観測を開始した。予備的な結果から V バンドでの限界等級を評価したところ、120 秒露出で 14 等の星が  $S/N > 20$  で測光できることを確認した。

今回の発表では、K.3T の初期開発計画の実現、評価観測の結果、そして今後の展望について報告する。